仕様明細書

1. 概要

本書は低炭素原料の腐食性試験についての仕様明細を定めたものである。

2. 業務範囲

- (1) 試験方法検討
- (2) 試験機材製作
- (3) 試験片作製
- (4) 腐食試験
- (5) 試験片評価
- (6) 試験油分析
- (7) 報告書作成

3. 詳細仕様

2. の業務を実施するための詳細仕様を以下に述べる。

- (1) 2. (3)における試験片の材質は SUS304、SS400 の2種類とし、表面仕上げを行う。
- (2) 2. (4)の試験温度は、240℃および常温の2条件とする。必要に応じ、恒温槽等により温度を一定に保つものとする。
- (3) 2. (4)で用いる低炭素原料は、当センターより支給する。
- (4) 2. (4)の試験時間は、48時間とする。
- (5) 試験容器は密閉状態とし、窒素置換等により酸素と接触しないようにする。
- (6) 2. (5)の評価項目は、以下のとおりとする。
 - ① 外観（写真撮影）
 - ② 重量測定
 - ③ 寸法測定
- (7) 2. (6)の分析項目は、以下のとおりとする。
 - ① 密度
 - ② 動粘度(30℃、50℃)
 - ③ 酸価
 - ④ 水分濃度
 - ⑤ 全塩素
 - ⑥ 水溶性塩素
 - ⑦ pH（水抽出後）

(8) 2. (7)の報告書は、Microsoft Word、PDF 等の電子ファイルで提出する。

4. 見積範囲

2. の業務について、以下の条件における 1 試験当たりの金額（単価）を見積るものとする。

(1) 見積項目は以下とする。

- ① 試験方法検討
- ② 試験機材製作
- ③ 試験片作製
- ④ 腐食試験

以下の項目に分けて見積もる。

ア. 試験前準備

イ. 試験時間 1 時間当たりの金額および試験時間 48 時間当たりの金額

ウ. 試験後処理

- ⑤ 試験片評価
- ⑥ 試験油分析
- ⑦ 報告書作成
- ⑧ その他必要費用（管理費、諸経費等）

(2) 合計金額を算出する時の試験時間は、48 時間とする。

(3) 温度条件により金額が異なる場合は、各々について見積りを提出する。

(4) 試験後のサンプル返却は不要とし、受注者にて廃棄処分する。費用が発生する場合は見積りに含める。

以 上